

香川用水二期農業水利事業 東部幹線用水路第13・14工区 新川サイホン他改修工事

本地区は、温暖な気候と恵まれた立地条件により収益性の高い営農が展開されています。そうした本地区の農業用水は、河川、ため池をはじめとする地区内水源の他に、早明浦ダムに必要水量の3分の1を依存しており、国営香川用水土地改良事業（S43～S55）により造成された幹線用水路等の施設により、香川県のほぼ全域へ配水されています。

しかし、これら幹線用水路等の施設は、経年的な施設の劣化により漏水事故が発生するなど、用水の安定供給に支障を来しています。このため、本工事は、幹線用水路の一部を老朽化対策及び耐震対策として鞘管工（PIP工法）により改修するものです。

本工事は、施工延長はL=1,364m、工法は鞘管工（PIP工法）（既設管φ1,200mmに鋼管φ800mm～φ1,100mmを挿入）による管更正工事です。

平成31年2月20日の通水に向けて、作業所一同一丸となって第三者災害ゼロ、無事故無災害で高品質な施工を行い、工期内竣工を目指してまいります。



監督職員からのエール

本工事は、築造後40年を経過し老朽化した幹線用水路（PC管φ1,200mm）を改修するもので、施工区間（L=1,364m）は、2級河川（新川、鴨部川）の横断部、県道の縦断部等で構成されます。設置する立坑3箇所内の1箇所は県道迂回を伴い、一般交通や周辺住民への安全対策を徹底する必要があります。

また、工事に必要な通水停止期間は、10月11日から翌年2月19日までの限られた期間であり、2月20日から通水が開始されます。さらに、鞘管工法は既設PC管1,200mmへ鋼管挿入するため狭小空間での作業や現場管理となります。

このように厳しい現場条件ではありますが、三宅所長はじめスタッフの皆様は、地元自治会と連絡を密にし、周辺住民と良好な関係を構築し工事を進められ、工事工程は大幅な遅延なく進捗しています。本工事は、県民共有の財産である香川用水施設を後世に引き継ぐ重要な責務を担っています。これから管路構築が本格化して行きますが、平成31年2月の通水開始を目指し、安全で高品質な施工を期待します。

監督職員

（写真左） 中国四国農政局香川用水二期農業水利事業所
工事第二課長 川口 教友

現場代理人

（写真右） 株式会社大本組

新川サイホン作業所 三宅 弘

